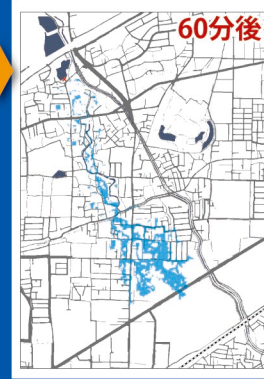
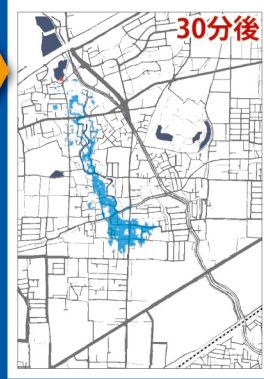
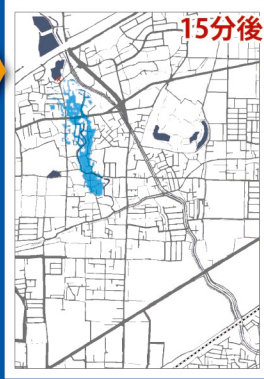


ため池が決壊したら

地図上の浸水深は各箇所での最大値を示しています。決壊したら、ため池の水は時間ごとに地盤が高い所から低い所へ移動します。(下図参照)



地図を見る上での留意事項

※ここに示した浸水想定区域は、最大被害を把握するため、ため池の水位が上昇した状態で、堤防基部まで一気に決壊した場合を想定し、浸水シミュレーションを行ったものです。

※浸水シミュレーションは平均化された地盤高で行っているため、小水路などの局所的な地形を計算に反映できていない場合があります。そのため、実際の浸水範囲や浸水深と異なる場合があります。

※河川氾濫や下水道などがあふれる内水氾濫、その他の災害は考慮していません。

※想定を超える事態や不測の事態が起こった場合、地図上に示した以外の範囲においても浸水被害が発生する可能性があります。

凡例



避難所



消防



警察



道路



水部



決壊地点



浸水する時間の目安

連絡先一覧

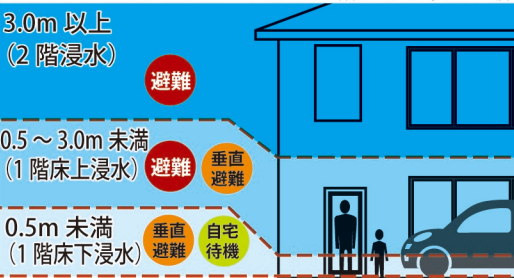
| 名称 | 電話番号 |
|--------|--------------|
| 阿武野幼稚園 | 072-696-0074 |
| 第四中学校 | 072-695-0404 |

地図の見方①

居住地における浸水深と避難行動の目安

ため池決壊によって想定される浸水範囲(浸水想定区域)及び浸水深を、青系の色で地図上に示しています。居住地における浸水深を確認し、とるべき避難行動の目安を知っておきましょう。

浸水深と避難行動の目安 ※2階建て戸建住宅の場合



避難 ため池が決壊する前に、早めに自宅以外の安全な場所へ事前避難を!

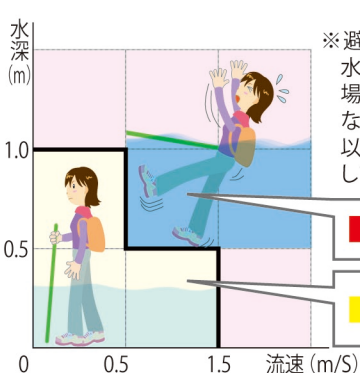
垂直避難 状況に応じて、建物の高層階に垂直避難を!

自宅待機 無暗な移動はかえって危険。情報収集に努め、状況に応じて浸水対策を!

地図の見方② 浸水想定区域内の道路における歩行困難度

浸水想定区域内の道路については、浸水深と水の速さから歩行の困難度を計算し、赤・黄色で地図上に示しています。屋外を移動して避難する場合は、歩行の困難度に注意してください。

なお、屋外を移動しての避難は、浸水が始まる前が基本です。浸水が始めたら無理をせず、周囲の高い建物への垂直避難を考えてください。



歩行は困難

歩行には注意が必要

※避難の際は、河川や水路などの危険な場所には近寄らないなど、ため池の決壊以外の災害にも注意してください。